

北海道議会議員
村田 光成 道政報告 Vol. 3 帯広版

料金別納
タウンプラス

北海道議会議員 村田 光成

皆様の暮らしを守り抜き! 帯広・とかちの確かな未来へ

むらた みつしげ
村田光成
プロフィール

昭和42年10月10日、帯広市生まれ。帯広農業高校、東洋大学経済学部卒。帯広市議会議員4期を経て、平成31年北海道議会議員に初当選。道議会議会運営委員会委員、同保健福祉常任委員会委員、同少子・高齢社会対策特別委員会委員。

村田光成
事務所

〒080-2464 帯広市西24条北1丁目3番地31
TEL:0155-67-1155
FAX:0155-67-1567



道議会新庁舎全景(左)と新庁舎で初の議会となった第2回定例会(令和2年6月)での一般質問(中央)、議会運営委員会で各会派と協議(右)

ごあいさつ

日頃より、私の議員活動に対し、ご理解・ご協力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

世界で広がりを見せる新型コロナウイルス感染症は、日本国内はもとより、北海道経済にも大きな影響をもたらし、私たちの健康や暮らしを脅かして、緊急事態宣言の発出や生活スタイルの変貌により飲食・宿泊・交通をはじめとする観光関連産業を中心に、商店街などを含め、地域経済に深刻な影響を及ぼしております。

国民の命を守るために、最前線に立ち続ける医療従事者をはじめ多くの方々の献身的なご尽力のおかげで、私たちの暮らしがあります。たゆまぬご努力に、心から敬意と感謝を申し上げます。

私は、道議会でコロナウイルス感染症対策を所管する『保健福祉委員会』において、PCR検査体制の

拡充、保健所機能の強化、医療提供体制の充実、宿泊療養施設の設置など刻々と変わるステージに対応して感染症対策に取り組んできました。

道政に携わる一人として、皆様の生活や事業への影響を細かに把握し、皆様に寄り添いながら、スピード感を持って、新型コロナウイルスのワクチン接種体制をはじめとする万全の感染症対策を確立させます。

その上で、社会経済活動を再開し、経済と雇用を回復させ、新生活様式を取り入れて、日常を取り戻す政策を力強く推し進め、活力にあふれる『帯広・十勝・北海道』の実現に向けて皆様とともに全力で取り組んでまいります。

今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

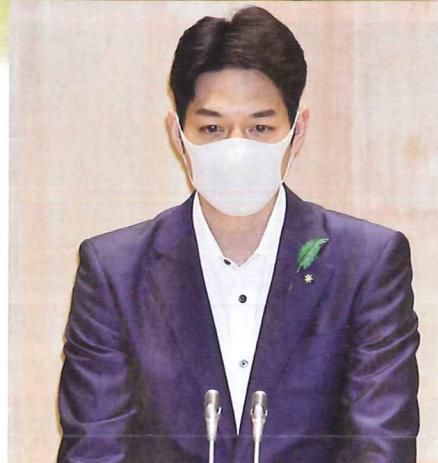
北海道議会議員 村田 光成



村田光成は昨年9月の第3回定例道議会で一般質問に立ち、スマートフォンを活用した次世代の交通サービスシステム「MaaS（マース）」や冬季オリンピック・パラリンピックの招致など道政の重要課題をめぐり鈴木直道知事らとの論戦に臨んだほか、決算特別委員会や私が常任委員を務める保健福祉委員会で、新型コロナ対策をはじめ農業、食、教育など幅広い論点について取り上げました。

第3回
定例道議会

冬季オリ・パラ招致実現へ 道の取り組みをただす



村田議員 招致を目指している2030年冬季オリンピック・パラリンピック札幌開催について、私の地元・帯広でも「明治北海道十勝オーバル」でスピードスケートの開催が想定されており、地域住民の機運醸成や受け入れ準備に取り組んでいる。道としてもしっかりとサポートする立場にあると考えるが、今後の取り組みについて伺う。

鈴木知事 新型コロナウイルスの感染拡大や東京2020大会の延期の影響で、想定していた招致活動を進められない状況にあるが、招致に向けた機運を高めていくことが必要。道として、札幌で開催される東京大会のマラソンなどを万全のコロナ対策のもとで行い、北海道の魅力を世界に発信して、その成功を2030年大会の招致実現につなげていく。

次世代の交通サービスシステムMaaS 十勝の実証実験成果を全道展開へ

村田議員 スマートフォンを活用して出発地から目的地までの移動手段の検索・決済を一つのサービスで完結できるMaaS（マース）の実証実験が、令和元年10月と同2年2月に十勝地域で行われた。その成果や今後の展開について、道の見解を伺う。

交通企画監 令和2年2月の実証実験では、観光客の周遊増加を図ることができた一方、利用者にとって魅力的な商品造成や容易にチケットを購入できる仕

組みなど、さらなる利便性向上が課題となった。

それらを踏まえ、令和2年度は飲食店のクーポンと交通チケットを組み合わせた商品造成のほか、アプリからウェブサイトでのサービス提供に変更し、住民向けの実証実験を実施。

道として、多様な事業者による連携体制を構築しながら、空港などを拠点とした導入促進などMaaSの全道展開に向けて取り組んでいく。

決算
特別委員会

北海道の食と農業の未来へ フード特区やスマート農業などを議論

昨年9月に開催された決算特別委員会で、スマート農業の推進や災害に強い酪農の実現をはじめとする一次産業、北海道を世界的な食の研究開発・輸出拠点にするための「北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）」の取り組み、幼児教育の充実から高校生の学力向上までの教育政策などについて幅広く道の姿勢と今後の展開をただしました。

スマート農業をめぐり、道は農村地域の超高速ブロードバンド整備について積極的な姿勢を表明。また、地元・帯広と十勝地域が参加し、農業用貨物自動車の車検期間の延長に取り組む

「フード特区」については、今後、道として一次産業と関連産業とのネットワーク強化、高付加価値の食品の研究開発促進、輸出拡大に向けた人材育成などの取り組みを進めるとの答弁を引き出しました。



決算特別委員会での主な質問

- ・幼児教育の充実について
- ・子供の読書活動の推進について
- ・高校生の学力向上について
- ・スマート農業について
- ・農業農村整備事業の執行について

- ・災害に強い酪農について
- ・アライグマの被害防止対策について
- ・森林環境税及び森林環境譲与税について
- ・胆振東部地震による被災森林の復旧について
- ・北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区について
- ・ふるさと北海道応援フォーラムについて

保健福祉
委員会

スピード感と実効性ある感染防止策へ 議論重ねて次々と対策

新型コロナウイルス感染症が道内でも拡大し始めた頃から、私は道のコロナ対策について議論する保健福祉委員会で何度も質問に立ち、感染拡大の局面に応じて効果的でスピード感のある対策を求めてきました。

昨年9月の委員会では、道内の3次医療圏ごとの

重点医療機関、協力医療機関についてただし、施設の指定状況が十勝圏は重点2、協力4と判明。11月には宿泊療養施設について、十勝と道南で確保を急ぐ必要を指摘し、道は準備を進めると答弁しました。今年に入ってからも、ワクチンの円滑な接種のための体制づくりなどをただしました。

保健福祉委員会での主な質問

- ・医療体制の充実・強化について
- ・PCR検査体制の強化について
- ・病床の確保について
- ・宿泊療養、自宅療養について

- ・保健所の体制強化について
- ・医療施設の経営状況等について
- ・医療用資材の確保について
- ・緊急事態措置解除の経緯について
- ・新北海道スタイルについて
- ・ワクチン接種体制について



令和3年度当初予算案を審議

一般会計総額3兆2530億円 コロナ対策盛り込み過去3番目の規模に!

主な事業

新型コロナ対策

医療提供体制の強化

- ワクチン接種体制の整備

3億939万円
(令和2年度補正予算含む)

- 発熱患者を受け入れる医療機関の検査機器導入促進

11億4800万円

- 保健所の人員確保、設備の整備

12億6600万円

経済支援

- 時短営業や外出自粛要請の影響を受けた事業者への支援金

51億円

- 中小企業への融資など

4503億8300万円

学びや生活の安心確保

- 学校内の消毒などを補助するスクール・サポート・スタッフ配置

10億7500万円

- ICTを活用した健康確認など高齢者の健康づくり

5100万円

観光活性化への交通支援

- 観光列車を購入しJR北海道に無償貸与

10億2800万円

東京五輪成功への準備

- ホストタウンや事前キャンプ地での感染症対策

4億728万円

デジタル社会の促進

- デジタル技術活用に取り組む市町村や企業への補助金

3100万円

脱炭素社会の実現へ

- 脱炭素化に先進的に取り組む地域の調査

2300万円

新型コロナ対策に総力を結集! 道の対策予算の総額8847億円を確保

自民党・道民会議議員会は、道内でも感染が拡大し始めた昨年2月末にいち早く「新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、迅速で効果的な対策の策定に取り組んできました。私たち自民党会派の精力的な申し入れにより、道はこれまでに第1弾～第6弾の対策を講じ、総額8847億円の予算を確保しました。一日も早い終息のため、今後も全力で取り組んでまいります。

子宮頸がんワクチン研修会に出席

3月13日、子宮頸がんワクチンに関する研修会に出席しました。子宮頸がんは特定のウイルスが原因で発症することがわかっており、国は平成25年に感染予防のためのワクチン定期接種を、女子高校生を対象に行いましたが、一部の生徒に強い副反応が出たため中止しました。

北海道医師会常任理事の三戸和昭医師、藤井美穂医師によるワクチンの有用性についての講演を聴き、日本では毎年1万人が子宮頸がんを発症、3000人が死亡している現状に、私も強い危機感を持ちました。1人でも多くの命を救うために、ワクチン定期接種を再開できるよう後押しします。



ワクチン接種の必要性を強く訴える長瀬清北海道医師会会長(右端)。右の2人は講師の三戸和昭氏、藤井美穂氏



重患医療機関
十勝は2施設
村田氏質問に道
委員会が白開かれ
（札幌）道議会議場
（帯広市）は新型コロナ
ウイルスに対する医療提
供体制などについて質問し
た。道は、現時点で感染者を
管理できる病院の患者を個室
（協力医療機関）に道内で24施設
を指定したこと報告し
た。また、3次医療機関の内訳で
は、（札幌）道議会議場
（帯広市）は新規コロナウ
イルス感染症への

十勝は2施設
村田氏質問に道
委員会が白開かれ
（札幌）道議会議場
（帯広市）は新型コロナ
ウイルスに対する医療提
供体制などについて質問し
た。道は、現時点で感染者を
管理できる病院の患者を個室
（協力医療機関）に道内で24施設
を指定したこと報告し
た。また、3次医療機関の内訳で
は、（札幌）道議会議場
（帯広市）は新規コロナウ
イルス感染症への

十勝は2施設
村田氏質問に道
委員会が白開かれ
（札幌）道議会議場
（帯広市）は新型コロナ
ウイルスに対する医療提
供体制などについて質問し
た。道は、現時点で感染者を
管理できる病院の患者を個室
（協力医療機関）に道内で24施設
を指定したこと報告し
た。また、3次医療機関の内訳で
は、（札幌）道議会議場
（帯広市）は新規コロナウ
イルス感染症への

十勝は2施設
村田氏質問に道
委員会が白開かれ
（札幌）道議会議場
（帯広市）は新型コロナ
ウイルスに対する医療提
供体制などについて質問し
た。道は、現時点で感染者を
管理できる病院の患者を個室
（協力医療機関）に道内で24施設
を指定したこと報告し
た。また、3次医療機関の内訳で
は、（札幌）道議会議場
（帯広市）は新規コロナウ
イルス感染症への

十勝は2施設
村田氏質問に道
委員会が白開かれ
（札幌）道議会議場
（帯広市）は新型コロナ
ウイルスに対する医療提
供体制などについて質問し
た。道は、現時点で感染者を
管理できる病院の患者を個室
（協力医療機関）に道内で24施設
を指定したこと報告し
た。また、3次医療機関の内訳で
は、（札幌）道議会議場
（帯広市）は新規コロナウ
イルス感染症への

十勝毎日新聞に掲載された村田道議の記事